

## 東日本大震災6周年シンポジウム『災害研の活動と新たな一歩』を開催しました (2017/3/12)

テーマ：東日本大震災6周年、災害科学国際研究所、リーディング大学院  
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2017年3月12日（日）東日本大震災6周年シンポジウム『災害研の活動と新たな一歩』（主催：災害科学国際研究所、共催：グローバル安全学トップリーダー育成プログラム）を「仙台防災未来フォーラム 2017」の関連イベントとして開催し、企業、自治体、大学／研究機関の関係者の他、一般参加者など延べ250名ほどの参加を頂きました。シンポジウムは、今村文彦所長・教授からの挨拶に続き二部構成で行われました。

第1部「災害研の活動の成果」では、奥村誠副研究所長・教授の趣旨説明に続き、今村文彦教授（災害リスク研究部門）が「防災功労者内閣総理大臣表彰につながった活動」と題して、災害科学国際研究所の5年間の活動について総括し、続いて、調査活動報告の他、災害対応と人材育成・実践的防災学に関する発表が行われました。

第2部「災害研の新たな一歩」では、寺田賢二郎教授（地域・都市再生研究部門）の趣旨説明に続き、緊急調査戦略会議、共同利用・共同研究拠点化に向けての活動の他、プロジェクトエリア・ユニットについて、国連防災世界会議・仙台防災枠組・災害統計グローバルセンター/世界防災フォーラム、防災推進国民大会(防災こくたい)などの活動について報告されました。

その他、同会議場内で、リーディング大学院(グローバル安全学トップリーダー育成プログラム)と災害研の活動に関する展示も行われました。長時間のプログラムにも関わらず、最後まで活発に質疑応答や意見交換が行われ、大変盛会となりました。

当日のプログラムの詳細は、以下のとおりです。

### 第1部：災害研の活動の成果

- ・熊本地震とハザード評価への教訓：遠田晋次教授（災害理学研究部門）
- ・台風10号による豪雨災害～岩手県の被害を中心に～：森口周二准教授（地域・都市再生研究部門）
- ・平成28年熊本地震に対する東北大学病院災害派遣医療チーム(DMAT)の活動：佐々木宏之助教授（災害医学研究部門）
- ・地域の暮らしと住まいの復興：岩田司教授（地域・都市再生研究部門）
- ・東日本大震災の経験が生きたこと/生きなかったこと：丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）
- ・東北地方整備局との連携による人材育成：佐藤健教授（情報管理・社会連携部門）
- ・実践的防災学の体系化と教育：村尾修教授（地域・都市再生研究部門）

### 第2部：災害研の新たな一歩

- ・緊急調査戦略会議：奥村誠教授（人間・社会対応研究部門）
- ・共同利用・共同研究拠点化に向けて：伊藤潔教授（災害医学研究部門）
- ・プロジェクトエリア・ユニットについて
  - 「健康」エリアから：災害から命と健康を守るための学際研究：富田博秋教授（災害医学研究部門）
  - 「情報」エリアから：学際研究による震災アーカイブから自然災害アーカイブへの転換：柴山明寛准教授（情報管理・社会連携部門）
- ・国連防災世界会議のその後
  - 仙台防災枠組とは：泉貴子特任准教授（情報管理・社会連携部門）
  - 災害統計グローバルセンター/世界防災フォーラム：小野裕一教授（情報管理・社会連携部門）
- ・防災推進国民大会(防災こくたい)報告：丸谷浩明教授（人間・社会対応研究部門）

なお、当日発表の資料は、HPに公開されています。

<http://irides.tohoku.ac.jp/event/houkokukai/6years.html>

文責：寺田賢二郎（地域・都市再生研究部門）、杉安和也（リーディング大学院）、鈴木通江（広報室）  
(次頁へつづく)



今村所長



会場の様子



展示コーナー



展示コーナー



展示コーナー



遠田教授



森口准教授



佐々木助教



岩田教授



丸谷教授



佐藤教授



村尾教授



奥村教授



伊藤教授



富田教授



柴山准教授



泉特任准教授



小野教授